

銀年

銀座でわかる年俵

情報(第50号)



平成31年3月29日

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2階
銀座社会保険労務士法人 代表社員 吉国 智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL:<https://ginza-syaroushi.com/>

周南市桜馬場通り：古木に今年も咲きました。1分咲きでしょうか（平成31年3月27日）。

年金額の改定(マクロ経済スライド)



1 平成 31 年度年金額の改定

本年4月分より、①老齢基礎年金額が780,100円(満額・月額65,008円)、②モデル年金額(夫が平均的収入で40年間厚生年金保険に加入し、妻が40年間第3号被保険者であった夫婦)が2,658,050円(月額221,054円)に改定されます。①は、月額67円の増、②は、月額227円の増です。年金は前2か月分が偶数月に支払われることから、6月支給分からとなります。

2 マクロ経済スライド

頭の痛くなる見出しです。年金額の改定は、「マクロ経済スライド」によって行われます。

国家と国民、市場経済という大きな視点から経済をとらえることを『マクロ経』と呼び、個人単位、企業単位という個人・個別的な経済をとらえることを『ミクロ経済』と呼びます。マクロの直訳は「巨視的」、「ミクロ」の直訳は「微視的」です。

スライドとは、滑る、滑らせること、ある数値に従ってある数値を増減させることで、「賃金を物価にスライドさせる」の例のとおり使用します。

マクロ経済スライドを簡単にいうと、日本経済全体の動向に年金額を増減させることだと理解すればよいでしょう。

3 マクロ経済スライドの仕組み

マクロ経済スライドは、平成 16 年改正で導入された制度です。それまでは、5年ごとに財政再計算を行い、給付水準と当面の保険料負担を見直し、これらを法律でその都度決めていました。年金制度は、常に年金額を上げろ↑攻撃と保険料を上げるな→攻撃に晒され、この二律背反は収まることのないのですから、5年ごとにこの大きな波をかぶることは耐え難いことでした。

そこで、考え出されたのが、マクロ経済スライドです。第一として、現役世代の保険料負担の上限を決め、その上限まで毎年度、保険料上げていくこと(平成 29 年度に上限に達しています)、国が負担する割合(税金の投入)も引き上げ、過去からの年金積立金も活用していくことで公的年金財政の収入を決めました。第二として、前記収入の範囲内で給付を行うこととし、現役世代の人数の変化(減少)と平均余命の伸びに伴う給付費の増加に応じた分だけ(スライド調整率)、年金額上げないことにして、5年ごとの財政再計算をしなくてよいようにしたわけです。

とても効率的な仕組みで、長期的に安定した運営ができることになり、法律改正も最小限に抑えられますから、当時、社会保険庁職員であった筆者は、厚生労働省は、うまい手を考えたものだと感心しました。年金制度の歴史や固定観念にとられない画期的な改正であったと評価できます。

4 100 年安心

ところが、世の中はとかく皮肉なものです。マクロ経済スライドはわかりにくい表現なので、お題目を「100年安心」としたところ、国民年金保険料の納付率が悪いことを捉えて、何が100年安心なものか！国民から信頼されていないではないかと、国会議員から攻撃される羽目になりました。この議論は、客観的・建設的ではなかったというのが筆者の私見です。

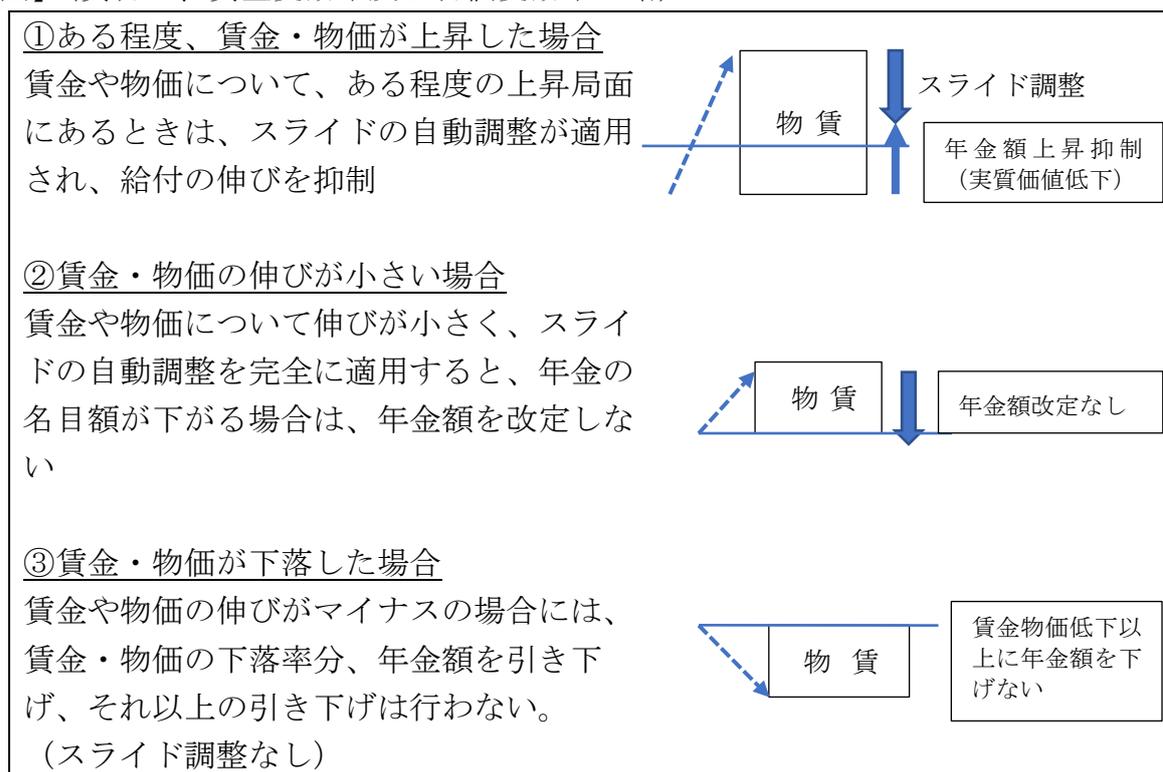
このため、年金制度が政局化し、更に社会保険庁の不祥事や年金記録問題が提起されて、混乱に陥り、年金制度の信頼度が低下したことは実に残念なことです。

5 年金額調整の仕組み

現役世代である被保険者の減少及び平均余命が伸びることを考慮し、「スライド調整率」を差し引いて年金額を自動調整（減額）します（図）。すると、年金額は上がる（名目額）けど、価値（実質額）は少し下がることとなります。もっとも②や③では年金額を改定しません。本年4月からの年金額改定は、①に当たり、名目手取り賃金変動率0.6%から、スライド調整率0.5%を差し引いて0.1%だけ年金額を上げます。

働き方改革によって経済成長することが年金制度においても重要なのです。

【図】（賃金は、賃金変動率及び物価変動率の略）



当法人では、確定拠出年金導入など、高い年金受給のご提案をさせていただいております。

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階
 銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国智彦 井上隆興
 TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
 E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
 URL: https://ginza-syaroushi.com/